

# 令和7年度 自己評価および学校関係者評価書

令和8年2月26日  
函館市立北中学校

1 本年度の重点教育目標

「夢や目標をもち、自らの可能性を最大限に引き出す生徒の育成」

2 本年度の取組の重点

(1) 質の高い学びの提供      (2) 安心安全な場の提供      (3) 地域とともに歩む学校  
(4) 生徒を支え力量を高める教職員

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
① 確かな学力を育む教育活動の充実	主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業改善の工夫を図ることができたか	b	授業や評価について、校内研修等を通して改善の工夫を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を引き続き目指す工夫などを行う。	a	A	
	基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力等を高める個に応じた指導はできたか	b	基礎・基本の定着については、家庭学習チャレンジ週間や数学等の授業でAIドリルを活用して取り組んでいるが、今後も工夫を図る必要がある。	a	B	底上げのためのマンツーマン指導や、アフタースクールのような放課後学習等の工夫が考えられる。
② 豊かな心を育む教育活動の充実	挨拶・礼儀・言葉遣いなどの基本的な生活態度の育成を進めることができたか	b	日常的な指導も含め、継続的に指導を進めていく。全体的な取組について、校内だけではなく、家庭・地域と連携しながらさらに指導を重ねていく。	b	A	本来であれば家庭で指導すべきことであるので、保護者との連携をより一層考えていくべきである。
	豊かな体験活動を通じた人としての生き方、在り方を考える教育活動の工夫を図ることができたか	a	学校行事での縦割り活動や、地域と連携した「本物にふれる学び」を通して、教育活動の工夫を進め、充実改善につなげることができた。	a	A	本年度のような生き方教育やキャリア教育の工夫・充実を引き続き行ってほしい。
③ 学校力向上のための組織体制の充実	重点教育目標の実現を全教職員の共通課題として意識されたか	b	全国学力学習状況調査の生徒質問では将来の夢や目標をもっている生徒の割合が高くなっており、今後も学校全体で充実を目指す。	a	A	
④ 家庭・地域と連携・協働した教育活動の充実	コミュニティ・スクールの取組を行い、家庭・地域と一体となった学校運営を推進できたか	a	学校運営協議会や校区内小学校との連携を図り、地域とともにある学校づくりを今後も目指す。	a	A	
	家庭・地域・学校が目指す子ども像や教育目標、学校運営の基本方針を共有することができたか	a	地域公開授業や行事、「学校だより」など、地域の学校として情報の収集発信を行っている。北中HPでの情報発信も継続していく。	a	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。